

第39回地域リハビリテーションケース会議

テーマ：多職種協働で IADL の改善が図れた事例

＝リハビリテーション会議を通して＝

障害のある人や高齢者およびその家族が、住み慣れたところで、そこに住む人達とともに、一生安全に、いきいきとした生活が送れるように、様々な立場の機関・組織が協力しながら行う活動が「地域リハビリテーション」です。

今回は、片麻痺があるため家事代行は当然と思っていた事例について、リハビリテーション会議を行い、生活状況の共有や支援目標の合意を図った結果、リハ職とヘルパーの協働で IADL が改善し、本人が前向きになれたケースを取上げます。

またミニ講座では、効果的な会議の進め方などをご教示いただき、その人らしい生き方を支援するための多職種協働のあり方等について、参加者と一緒に考えていきたいと思えます。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成 28 年 10 月 4 日（火）18：30～20：30

場所：ウェル戸畑 中ホール（北九州市戸畑区汐井町 1－6）

対象：○医師、歯科医師、保健師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、
ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、ホームヘルパー等

○その他、障害者や高齢者を支援する保健・医療・福祉関係者、障害者・高齢者ご本人やその家族等、関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。

内容：事例報告（ケアマネジャー、作業療法士、介護福祉士）、参加者との意見交換
ミニ講座（仮題）

「リハビリテーション会議の有効活用」＝居宅サービスにおける多職種協働の推進＝

コメンテーター：浜村 明德氏（小倉リハビリテーション病院 名誉院長）

橋元 隆氏（九州栄養福祉大学 小倉南区キャンパス 副学長）

コメンテーター：吉川 真理氏（産業医科大学リハビリテーション医学講座 外来医長）

参加費無料

【お知らせ】

参加申し込みは別紙の F A X 送信票にてお願いいたします。



【お問い合わせ先】

保健福祉局地域リハビリテーション推進課 担当：福田、宮永

TEL：093-522-8724

FAX：093-522-8772

